

2023 年度開設 東北福祉大学通信制大学院
高度な実践力と実践研究力を身につける福祉等人材養成プログラム

近年、地域社会や家族が変化し多様化する中、その抱える問題は虐待や孤立、若年介護者の存在など複雑化、高度化しています。これらの問題解決に日ごろ向き合う対人援助の専門職は、絶えず新しい知識と技術を習得し、社会課題に適切に対応する力量を身につけること、高度専門職として成長することが求められています。

この科目は、このような福祉等現場における高度な問題解決能力を有する専門職者の養成を目指すプログラムです。

このプログラムでは、ソーシャルワークの理論に基づき、福祉等の現場の課題を把握し、それを解決するための方法を学びます。たとえば、選択科目のひとつ「特別研究講義Ⅰ」では毎月開催される「TFU 実学臨床研究セミナー」を受講し(オンライン、オンデマンドも可)、第一線で活躍する実践家や研究者から、広い分野の社会課題とその解決のために必要な多職種連携や人材育成など、より高次元レベルの実践力や実践研究力を学ぶことができます。また、「特別研究講義Ⅱ」では、専門職能団体などとの共催で行われる「公開講座」に参加し、課題とされる社会的な問題の解決方法などを演習形式で学ぶものです。2022 年度は、社会福祉法人の課題とされている公益活動すなわち地域共生社会づくりについて、参加者の各職場等の実践事例を素材に、地域の課題解決方法を学修しました。

カリキュラムは選択制としています。そのことによって様々なバックグラウンドを持つ履修生に対応します。例えば「ソーシャルワーク論」はこの領域において基幹となる科目であり、看護学など他領域のバックグラウンドをもつ履修生に学修の基礎を提供します。また「福祉プログラム開発と評価」は研究的実践家、また実践を管理する立場にあるような履修生に向けて、ソーシャルワーク実践のプログラム開発と評価法を伝えます。その他「子ども・家庭と女性福祉研究」、「高齢者福祉研究Ⅰ」、「障害者福祉研究Ⅰ」「生活困窮者支援と貧困研究」など専門分野をより深く学修することができる科目を配置し、実務家教員が対象ごとの支援理論を伝えます。また、実践事例を用いたグループ討議などの演習形式により、今日的な課題を把握し、その解決策を学修することができるようにしています。なお、自身の実践の計画・振り返り・改善を行う PDCA サイクルの実施方法、ファシリテーションの技術、エコマップの作成など、カンファレンス等で使う技術を身につけることもできるようにしています。最後に、スーパーバイザー資格を有する実務家教員による「実践事例検討とスーパービジョン」においては、福祉等現場での専門職として常に化するニーズに応え得る能力を維持、向上させるための省察を進めるだけでなく、人材育成のあり方、方法についても考察できるようにします。

これらのカリキュラムによって、このプログラムでは、実践力と、その実践を検証する実践研究力を合わせて修得することができます。その目的と内容から、このプログラムには、認定社会福祉士研修として開講する科目が含まれます。

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

①学校名:	東北福祉大学通信制大学院	②所在地:	宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-26 (本校地:宮城県仙台市青葉区国見1-8-1)		
③課程名:	高度な実践力と実践研究力を身につける福祉等人材養成プログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2023/4/1
⑥責任者:	総合福祉学研究科長 三浦 剛	⑦定員:	10名	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>福祉等現場における高度な問題解決能力を有する専門職者の養成を目指すプログラムである。近年、地域社会や家族が変化し多様化する中で複雑化する支援ニーズについて、日ごろ向き合う対人援助の専門職は、絶えず新しい知識と技術を習得し、社会課題に適切に対応する力量を身につけること、高度専門職として成長することが求められている。</p> <p>当該プログラムでは、ソーシャルワークの理論に基づき、福祉等の現場の課題を把握し、その解決方法を学ぶ。選択科目のひとつ「実学臨床研究セミナー」は、社会で起きているさまざまな問題を知り、それに対応する高度な実践力を身につけることを目指すものであるが、当該プログラムでは、その上に応用として、複雑化する社会問題を科学的に分析し、根拠を示す実践を行うための方法も学修する。また、公開講座では、社会福祉法人の課題とされている公益活動すなわち地域共生社会づくりについて、参加者の各職場等の実践事例を素材にして地域の課題解決方法を演習形式で習得する。さらに、実務家教員によるスーパービジョンにより、対人援助の専門性について深く省察し、高度な実践力と実践研究力を総合的に修得する。</p> <p>なお、当該プログラムには、認定社会福祉士研修として開講する科目が含まれます(一部申請中)。</p>				
⑩10テーマへの該当	中小企業活性化	⑪履修資格:	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育法第102条に規定する大学院に入学ができる者。 福祉等関係専門職に従事する者。 認定社会福祉士研修を受講する場合は社会福祉士の資格を有し、社会福祉士取得(登録)後、相談援助実務経験が5年以上ある者。ただし、最終学歴が大学卒業以上の場合は社会福祉士の実務経験を3年以上とする。 		
⑫対象とする職業の種類:	福祉等関係専門職に従事する者(社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、公認心理師、介護福祉士等)				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能)		(得られる能力)		
	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の実践課題に対応するための高度な解決技能 実践を検証するための科学的な分析力 		<ul style="list-style-type: none"> 高度な実践力 実践研究力 		
⑭教育課程:	<p>カリキュラムは選択制とすることによって、様々なバックグラウンドを持つ履修生に対応する。例えば「ソーシャルワーク論」はこの領域において基幹となる科目であるが、看護学など他領域のバックグラウンドをもつ履修生に、より高度な学修の機会を提供する。また「福祉プログラム開発と評価」は研究的実践家、また実践を管理する立場にあるような履修生に向けて、ソーシャルワーク実践のプログラム開発と評価法を伝える。その他「子ども・家庭と女性福祉研究」、「高齢者福祉研究 I」、「障害者福祉研究 I」など専門分野をより深く学修することができる科目を配置し、実務家教員から対象ごとの支援理論を学ぶ。これらの科目から1科目以上選択履修する。ここでは実践事例を通じたグループ討議により、今日的な課題を把握し、その解決策を学修する。なお演習を通じて、自身の実践の計画・振り返り・改善を行うPDCAサイクルの実施方法、ファシリテーションの技術、エコマップの作成など、カンファレンス等で使う技術を身につける。</p> <p>加えて選択自由の「特別研究講義 I (TFU実学臨床研究セミナー)」を毎月受講することで、広い分野の社会課題を把握し、その解決のために必要な多職種連携や人材育成など、より高次元レベルの実践力や実践研究力を身につけさせる。「生活困窮者支援と貧困研究」では、現代の貧困という新たな課題への取り組みを講義、実践事例を通じたグループ討議により修得する。「特別研究講義 I (公開講座)」では、演習形式で参加者の各職場等の実践事例により効果的な公益活動(地域共生社会づくり)を模索し、地域での課題解決方法を習得させる。さらに、「実践事例検討とスーパービジョン」において、福祉等現場での専門職として常に変化するニーズに応え得る能力を維持、向上させるだけでなく、人材育成のあり方、方法についても考察し、これらの教育課程により、当該プログラムでは、実践力と、その実践を検証する実践研究力を合わせて修得させる。</p>				
⑮修了要件(修了授業時数等):	60時間以上の履修及び科目ごとに事後課題レポート(最終試験)に合格し、総合的な審査により修了認定				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	<ul style="list-style-type: none"> 履修証明書を付与する。 認定社会福祉士研修の要件を満たす者に対して、科目ごとに修了証を付与する。 				
⑰総授業時数:	162 時間	⑱要件該当授業時数:	138時間	該当要件	企業等、双方向、実務家
				⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	85%
⑳成績評価の方法:	事前学習、出席状況、事後課題レポート(最終試験)の成績を総合的に判断する。				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。TFU実学臨床研究セミナーの「実行委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	履修者に対して、科目ごと及び修了時にアンケートを実施し、その結果をホームページで公表することにより効果を検証する。				
㉓企業等の意見をとり入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成)</p> <p>学外委員と学内委員で構成するTFU実学臨床研究セミナー実行委員会において、本課程を含む福祉等専門職者に関する教育課程の編成について意見を取り入れる。</p> <p>(自己点検・評価)</p> <p>福祉等専門職者に関する教育課程の編成についてご意見を頂く当該実行委員会において、本課程の実績を報告することにより、自己点検・評価を行い、福祉等の現場の意見を本課程に反映させる。</p>				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	授業は一定期間自宅で24時間受講できるオンデマンド(動画)を活用する。オンデマンド(動画)受講後、同時双方向の授業を開講して質疑応答を含めた討議を行う。対面授業を行う場合は週末や祭日を利用し開講する。				
㉕ホームページ:	(URL) https://www.tfu.ac.jp/graduate_school/programs/s9n3gg000001g8v6.html				

(様式2)

授業科目の概要について

学校名:	東北福祉大学通信制大学院
課程名:	高度な実践力と実践研究力を身につける福祉等人材養成プログラム

要件該当授業時数:	138時間
要件該当授業時数/総授業時数:	85%

分類	科目名	配当年次	授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
選択必修	ソーシャルワーク論		22.5		○	○		田中 尚	東北福祉大学総合福祉学部 (実務家教員)
選択必修	子ども・家庭と女性福祉研究		15		○	○		竹之内章代	東北福祉大学総合福祉学部 (実務家教員)
選択必修	高齢者福祉研究Ⅰ		15		○	○		石附 敬	東北福祉大学総合福祉学部 (実務家教員)
選択必修	障害者福祉研究Ⅰ		15		○	○		三浦 剛	東北福祉大学総合福祉学部 (実務家教員)
選択必修	福祉プログラム開発と評価		7.5/22.5		○			大島 巖	東北福祉大学総合福祉学部
自由選択	特別研究講義Ⅱ (TFU実学臨床研究セミナー)		22.5	○		○		三浦 剛他	東北福祉大学総合福祉学部 (実務家教員含む)他
自由選択	生活困窮者支援と貧困研究		6/15		○			阿部裕二	東北福祉大学総合福祉学部
自由選択	特別研究講義Ⅰ(公開講座)		12	○	○	○		竹之内章代 野田 毅	東北福祉大学総合福祉学部 (実務家教員) 社会福祉法人東北福祉会
自由選択	実践事例検討とスーパービジョン		22.5		○	○		田中 尚 竹之内章代	東北福祉大学総合福祉学部 (実務家教員) 東北福祉大学総合福祉学部 (実務家教員)
			/						
			/						
			/						
			/						
			/						
			/						
			/						
			/						
合計:	9科目					162			時間